

(エピローグ) 各委員の意見に対する決定事項

委員名	意見の概要	和光市史編さん委員会決定事項
1 寄口昌宏 委員	P3 上段 20 行目・下段 2 行目 MaarS → MaaS	ご意見のとおり修正します。
	P3 上段 24 行目 PA → パーキングエリア (PA) SA → サービスエリア (SA)	ご意見を踏まえ、「新倉パーキングエリアのサービスエリア化計画」とします。
	P3 下段 6 行目 「南地区では、都営大江戸線の延伸」 →「南地区では、近隣に都営大江戸線の延伸」	「南地区では、隣接する東京都練馬区への都営大江戸線の延伸」に修正します。
	P6 下段 5 行目 「デフォルト」 → 「普通の生活様式」	「標準の生活様式」に修正します。
2 中蔦裕猛 委員	P3 上段 20 行目・下段 2 行目 MaarS → MaaS	ご意見のとおり修正します。
	P2 下段後ろから 5 行目 地下鉄有楽町線 現在は、東京メトロ有楽町線となっているが、延伸当時の表現を意識しているのであれば、原案でも OK	当時の出来事を記載しているので、「地下鉄有楽町線」のままとします。
3 宮瀧交二委員長は、佐々木寛司監修者とともに、各委員の意見を取りまとめながら意見をいただきます。		
4 鈴木敏弘 委員	P2 上段リード文 5 行目 「強みと弱み」→「長所と弱点」など。以下 10、12 行目、下段 5 行目も同様に、良い語句は？	「強みと弱み」は通常使われている言葉なので、原稿のままとします。
	P3 上段後ろから 6 行目、下段 2 行目の「Maars」は、本文中に説明があるのか？日本語では？	「Maars」は「MaaS」(マース)の間違いで、「Mobility as a Service」の略称で、複数の交通機関のサービスを一つのサービスとして結びつけ、人々の移動を大きく変える概念を指しますので、本文中に説明を加えます。
	P3 上段後ろから 2 行目の「PA」は「パーキングエリア?」、「SA」は「サービスステーション?」	ご意見を踏まえ、「新倉パーキングエリアのサービスエリア化計画」とします。

	P4 下段 11 行目 「DX」とは何？	デジタルトランスフォーメーションのことで、「ITの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念を指しますので、本文中に説明を加えます。
5 小柳一彦 委員	特になし	
6 田中明委 員	特になし	
7 田中俊委 員	別紙5のとおり	和光市史編さん委員会決定事項のとおりです。
8 伊藤芳夫 委員	P6 下段 3 行目 自治会活動の停滞について 前項の「和光市の弱み」にある平成の急開発による住民不定着が要因の一つであること。単に一般的な傾向ではないことを追記いただければ。	都心に近い和光市の特徴である住民の定着率が低いこと、子育て層の地域行事への参加の難しさなどを記載します。
9 川曲幸生 委員	「都市」の文字が多く使われているが、それほど協調しなくても。	7 ページで6 回なので、それほど多用しているとは言えないと思うので、原稿のままとします。
10 佐々木好 評委員	特になし	
11 牧田忍委 員	別紙6のとおり	和光市史編さん委員会決定事項のとおりです。
12 佐々木寛司委員は、宮瀧交二委員長とともに、各委員の意見を取りまとめながら意見をいただきます。		
事務局	別紙7のとおり	

「エピローグ」の意見に対する決定事項

該当 ページ	意 見 ・ 要 望	和光市史編さん委員会決定事項
P 3	<p>上段 5 行目～1 5 行目 「いままで開発が遅れ・・・（中間省略）・・・いよいよその解消の実現が近づいてきた。」→「北口土地区画整理事業の完成は遅れているが、土地区画整理事業と再開発事業の一体的施行により、和光市の顔にふさわしい魅力ある駅前空間の形成づくりが完成に向け推進されている。」とする</p> <p>（現況） 現在の施行期間は、令和 4 年度です。進捗状況から施行期間を 5 年間延長の変更申請を年度内に行い再開発事業は、土地区画整理事業から切り離して、都市再開発法により別事業で組合施行で行われます。地区計画を変更し、土地の高度利用化を図ったまちづくりを推進するため、諸手続きの事務が行われています。大きな課題解消に向け推進されているのが現状です。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「今まで開発が行われず、ビルやマンションの多い駅南口側と比較して駅北口側の利便性の低さは、これまで市民意識調査などからも、和光市にとっての最大の課題の一つであった。</p> <p>駅北口の土地区画整理事業の完成は当初計画より遅れているが、土地区画整理事業と再開発事業の一体的施行により、和光市の玄関にふさわしい見違えるような風景が姿を現すことになるよう、駅ビルや住宅街など南口とはまた一味違う和光市の特色となる空間づくりが推進されている。」と修正します。</p>
	<p>下段 3 行目 「自動運転バスにより結ばれる。」→「自動運転バスにより結ばれる。本格稼働に向けて利便性を高めるため、循環バス等の拡充に努める。」とする</p>	<p>ご意見を踏まえ、「市内循環バスの充実と併せ、将来的には、和光市駅北口と和光北インター周辺プロジェクト地域が和光版 M a a S 構想による自動運転バスにより結ばれる。</p> <p>「M a a S」（マース）は、「Mobility as a Service」の略称で、複数の交通機関のサービスを一つのサービスとして結びつけ、人々の移動を大きく変える概念を指します。」と修正します。</p>
	<p>下段 6 行目 「南地区では、都営大江戸線の延伸も見込まれている。」→「南地区では、隣接する練馬区大泉町に駅が設置される都営大江戸線の延伸も見込まれている。」とする</p>	<p>「一方、市役所をはじめとする公共施設、国の研究機関等の施設、大規模な住宅団地が集積する南地区では、隣接する東京都練馬区への都営大江戸線の延伸も見込まれているので、より一層の発展が想定される。」と修正します。</p>
	<p>「市が重視する四つの現場について」 四つが何か、分かりにくいので ①、②、③、④、と箇条書きのようにしてください。</p>	<p>ご意見のとおり修正します。</p>

「エピローグ」の意見に対する決定事項

該当 ページ	意 見 ・ 要 望	和光市史編さん委員会決定事項
P 2	和光市の強みと弱み 和光市の強みが交通の利便性や市民平均年齢の若さに伴う活力や生産性である点はまとまっているが、その強さが地価高騰や人口流動という弱みとなった…。という論理の展開はリード文や小見出しにはそぐわないと感じる。強みをうまくまとめているのだから弱みもまとめてほしい。	「和光市の強みは東京に隣接する交通至便な都市であることであり、逆に東京に隣接するがゆえに定住率が低いことで弱みともなっていることが分かる。 プロローグでも述べたとおり、子育て層や若者層が和光市のことを良く知らない、地域に愛着を持っていないことが和光市の課題となっている。」と修正します。
P 3	6行目 駅北口の…完成が見えてきた。→「駅北口の…完成の大筋が見えてきた。」 数年後には、見違えるような風景が姿を現すことになる。→「数年後には、見違えるような風景が姿を現すことが期待される。」	ご意見を踏まえ、「今まで開発が行われず、ビルやマンションの多い駅南口側と比較して駅北口側の利便性の低さは、これまで市民意識調査などからも、和光市にとっての最大の課題の一つであった。 駅北口の土地区画整理事業の完成は当初計画より遅れているが、土地区画整理事業と再開発事業の一体的施行により、和光市の玄関にふさわしい見違えるような風景が姿を現すことになるよう、駅ビルや住宅街など南口とはまた一味違う和光市の特色となる空間づくりが推進されている。」と修正します。
	下段6行目 都営大江戸線の延伸も見込まれている。→「都営大江戸線の延伸を望む期待の声も大きい。」	「一方、市役所をはじめとする公共施設、国の研究機関等の施設、大規模な住宅団地が集積する南地区では、隣接する東京都練馬区への都営大江戸線の延伸も見込まれているので、より一層の発展が想定される。」と修正します。

P 3	下段後ろから12行目 危機管理室が中心となって対応したきた。→ 「危機管理室は関係諸機関と危機管理に務め、 保健センターなど市の機関は国、県、保健所、 医師会などと協力し一丸となって対応にあたっ た。」	ご意見のとおり修正します。
	下段後ろから9行目 「和光方式」→「和光モ デル」	ご意見のとおり修正します。
	下段後ろから8行目 福祉担当責任者の不祥事 →「福祉事務所所長である保険福祉部長の公金 詐欺と横領」	確定判決が出されていない段 階なので、原稿のままとしま す。
	下段後ろから5行目 福祉分野の立て直しが目 下の課題となっている。→「不祥事の真相解明 と再犯予防対策。信頼を著しく下げた福祉分野 の立て直しが急務である。」	確定判決が出されていない段 階なので、原稿のままとしま す。
P 4	上段2行目 職員が現場に出向く頻度を増やす 動きが始まったところである。→「これまで以 上に職員が現場に出向く取り組みが増える。」	原稿のままとします。
	上段9行目 コロナ禍は…13行目 着手してい る。まで。その反面…以降は、コロナ禍を副次 的にであれ肯首発言であり、デジタル化やDX 市役所の前置きには全くふさわしくない。コロ ナ禍とデジタル化には sensitiveな関係もあり、 コロナ禍が起きたからデジタル化が進んだとい う論理づけは事実関係はともあれ市史叙述とし て適切ではないと考える。	一般的な社会の動きを表現して いるのであって、コロナ禍を肯 定しているものではありません。その時代の動きに合わせて 市役所の対応も変化している という意味ですので現行のまま とします。

P 4	<p>上段後ろから6行目 前述した職員の不祥事は大きな衝撃をもたらした…末2行目まで →前述した職員の不祥事は大きな衝撃をもたらした。議会の調査委員会の中間報告によれば、前述した職員のパワハラにより判断能力を欠いた職員が十数人に及び、刑事・司法の場に名前が挙がった職員も存在する。市は不祥事を起こした本人に民事訴訟に賠償請求も提訴しており、調査委員会も明快な事実を公表していない。当時の市長も電撃的に交代したこともあり事件の真相はほとんど晴れていない。事件は再発防止以前の段階に近いとも言える。</p>	<p>一職員の不祥事を市史としてことさら強調して記載することはふさわしくないので、後ろから6行目から2行目までを削除します。</p>
P 5	<p>上段 文末 素直で、積極的に自ら考えて行動できる児童・生徒が増えている。←削除</p>	<p>和光市内の学校の現状なので、原稿のままとします。</p>
P 6	<p>下段5行目 共働きがデフォルトとなっている…→削除</p>	<p>「共働きが標準の生活様式となっている現代社会において、」と修正します。</p>
	<p>下段 最後から3行目 和光モデル</p>	<p>ご意見のとおり修正します。</p>